

自然体験イベント事故情報

事故名	採取した外来種の運搬中にバイクが倒れる	被災者	年齢 70歳代	性別 男性
事故状況	発生日時 2023年 7 月 12 日 (水) 16時頃			
	発生場所 <input type="checkbox"/> 公園・里山・海・川・溪谷・その他 ()			
	<p>事故状況 (何をして、どのように、どうなった)</p> <p>受託事業のため、公園指定管理者のプレハブ小屋の前に捕獲したアカミミガメを置いて指定管理者に引き渡すことになっているが、どの建物か判らず坂道でバイクを一時停止し降りてのち再発進しようとしたところ、疲労で足が上がらず反対側にバイクを押し倒す形になった。急いでまたがって支えようとしたが路肩のへこみのため地面に足が届かず、バイクと一緒に転倒、腰を痛め、路肩のどこかでヘルメット上から頭をぶつけた。緩衝材に沿って「こぶ」ができた。</p>			
事故処置	<p>誰が、どのように処置</p> <p>本人が起き上がりエンジンを止めたが、後の処理を行う力がなく、同行者がバイクを起こし安全なところに移動してくれた。本人はプレハブ小屋の前でしばらく休憩して回復を待ったが、あまりに暑かったので、日陰に移動し、話をしながら回復を待った。</p> <p>その後、バイクを移動して調査の事後処理を少し手伝い、飲水、調査の終了を宣言後、にわか雨を避けるために急いで帰宅した。水・塩タブ等を摂り、片付けしながら様子を見たのち睡眠、特に異常がないので通常の生活にもどった。</p>			
	<p>ケガの部位・症状</p> <p>外傷なし。その後腰の痛みが激化、約1週間寝たり起きたりで、やや軽快してから受診したが、レントゲンの所見なし。症状から痛み止めを処方。1か月ほどではほぼ痛み無くなる。</p>			
	<p>推定原因と再発防止策は (分かる範囲で記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回相当疲労し熱中症気味で注意に欠ける状態になっていたうえ、指定場所が判らず苛立っていたため、路面の状態をあまり見ていなかった。ここまでの暑さの場合は、調査中止か短縮し、または参加を避けたほうが安全。 ・畧を運ぶためにバイクの後ろにカートをけん引していたため、急角度の転回やバックでの操縦性が悪くなっていた (前進時は問題なし)。荷物運びは荷物量に相応したツール (今回でいえば軽4輪自動車等) を使うべきだった。 			
総務部会コメント	再発防止策で書かれているように、熱中症防止をしっかりと行い、荷物もバイクでなく自動車で運搬すべきであった。			